

製品名: 活性+プロカパーゼ 3 (3L14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06553**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP3
別名	Apopain precursor; CASP-3; CPP-32; CPP32; Caspase-3; Cysteine protease CPP32; ICE3; SCA-1; SREBP cleavage activity 1;
遺伝子 ID	836.0
SwissProt ID	P42574
免疫原	ヒトカスパーゼ 3 の組み換えタンパク質

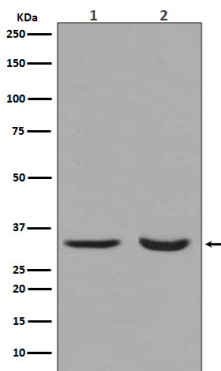
背景

この遺伝子は、システイン-アスパラギン酸プロテアーゼ（カスパーゼ）ファミリーに属するタンパク質をコードしています。カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性なプロ酵素として存在し、保存されたアスパラギン酸残基においてタンパク質分解を受け、大小2つのサブユニットを生成します。これらのサブユニットは二量体を形成して活性酵素を形成します。アポトーシス実行を担うカスパーゼの活性化カスケードに関与しています (PubMed:7596430)。アポトーシスの開始時には、カスパーゼはポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼ (PARP) の「216- Asp-|- Gly-217」結合をタンパク質分解的に切断します (PubMed:7774019)。ステロール調節エレメント結合タンパク質 (SREBP) を、基本ヘリックス-ループ-ヘリックスロイシンジッパードメインと膜接着ドメインの間で切断し、活性化します。カスパーゼ 6、7、9 を切断し、活性化します (PubMed:7596430)。ハンチンチンの切断に関与します (PubMed:8696339)。RET 切断を介して交感神経ニューロンにおける細胞接着を誘導します (PubMed:21357690)。酸化ストレスに応答してセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ AKT1 を切断し、阻害します (PubMed:23152800)。XRCC4 およびリン脂質スクランブラーゼタンパク質 XKR4、XKR8、XKR9 を切断し、アポトーシス細胞表面でのホスファチジルセリンの露出を促進します (PubMed:23845944、PubMed:33725486)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) COLO 細胞溶解物におけるカルレティキュリン発現のウエスタンブロット解析。